

平成17年度教育研究業績書

氏名 土平 博

最終学歴	関西大学大学院文学研究科博士課程後期課程地理学専攻単位修得満期終了
取得学位	文学修士
所属学会	歴史地理学会、人文地理学会、日本地理学会、奈良地理学会
現在の専門分野	歴史地理学会、人文地理学会、日本地理学会、奈良地理学会
研究課題	近世の陣屋、陣屋町に関する研究

【研究上の特記事項】

本年度は、これまで取り組んできた近世の陣屋および陣屋町の研究において、とくに形態的な観点を重視して進めた。「平成16~18年度科学的研究費若手研究B（「近世陣屋町の形態的類型化へむけた一試論」）がその研究の基盤となっており、研究対象地域を東北地方に設定し、現地調査をふまえ個々の立地や形態について検討を行った。

【教育上の特記事項】

本年度から新たに設置された「地理学講読・調査法」（2年次ゼミ）をはじめ、3、4年次ゼミにおいて、野外調査を多く取り入れている。とくに、3年次ゼミでは岡山周辺を調査対象地として6月と9月の2度の調査実習をおこなった。4年次ゼミのなかの1名が全国地理学専攻生卒業論文発表大会（於：東京学芸大学）で報告を行った。3月には海外研修（ブラジル方面）の引率を本学科池田碩教授とともにおこなった。

【社会的活動】

数カ年調査・執筆および編纂に継続的に取り組んできた『都祁村史』（現奈良市）と『茨木市史（民俗編）』が刊行されるはこびとなった。あらたに『王寺町水利組合史』の調査・執筆・編纂に取り組むことになり、本年度は現地調査を中心に実施した。また、継続的に調査を進めてきた『泉佐野市史』（かんがい水利編）の執筆にも取り組んだ。

【学内活動】（学内職歴を含む）

歴史地理学会平成17年度大会が7月に本学で開催されることになり、会場校としての運営する事務局の役割を果たした。

著書、学術論文等の名称	単著、 共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概要
(著書)				
1				
2				
3				
4				
5				
(学術論文)				
1				
2				
3				
4				
5				
(学会発表)				
1 周防国山口町における近世の町割と屋敷地割－坪附帳による景観復原の取り組み－	単	平成17年7月	歴史地理学会平成17年度大会	神戸大学を中心とする科学研究費グループの分担者となっており、その成果を報告した。
2				
3				
4				
(その他)				
1 『新修茨木市史』（第10編別巻民俗）	共			
2 『改訂都郁村史』（中巻・地理編・民俗編）	共	平成18年3月		本書の第7章人口、第8章農業の地域的特色、第9章交通・通信を担当した。
3				
4				